

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

ユーザーマニュアル

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

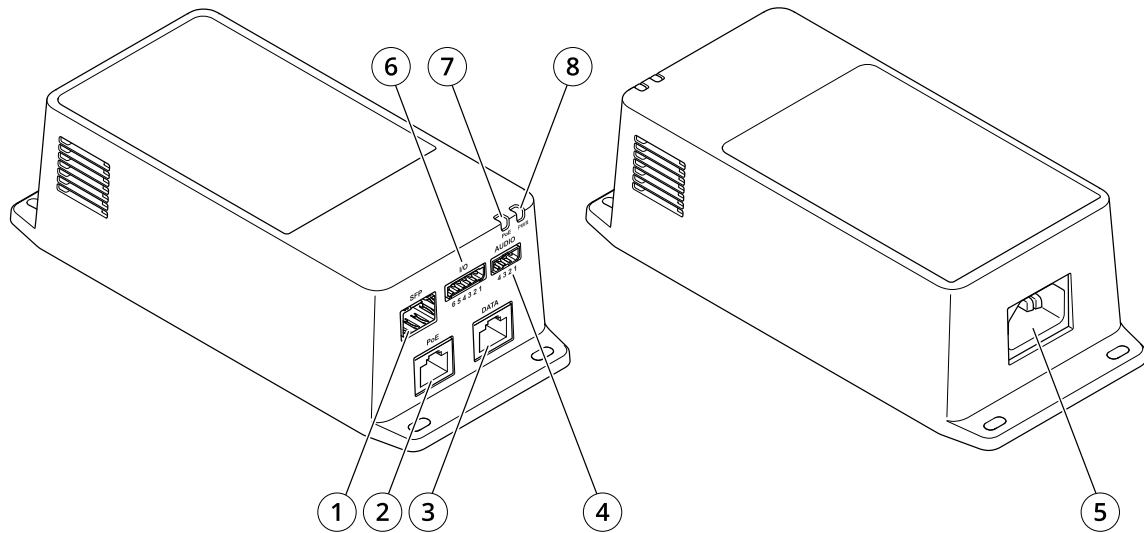
目次

製品の概要	3
設定	4
本製品について	4
音声	4
イベント	4
トラブルシューティング	6
仕様	7
LEDインジケータ	7
コネクタ	7

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

製品の概要

製品の概要



- 1 光ファイバーコネクタ (SFP)
- 2 ネットワークコネクタ-RJ45 (PoE)
- 3 イーサネットRJ45コネクタ (DATA)
- 4 音声コネクタ
- 5 電源コネクタ
- 6 I/Oコネクタ
- 7 PoE LED
- 8 電源LED

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

設定

設定

本製品について

最新のファームウェアバージョンでサポートされているAxisネットワークカメラに接続すると、カメラのWebページに音声とI/Oの設定が表示されます。

本マニュアルで説明しているすべての設定はカメラのWebページから行うことができます。

音声

録画に音声を追加する

音声をオンにする:

1. [Settings > Audio (設定 > 音声)] に移動し、[Allow audio (音声を有効にする)] をオンにします。
2. [Input > Type (入力 > 種類)] に移動し、音声ソースを選択します。

録画に使用するストリームプロファイルを編集します。

3. [Settings > Stream (設定 > ストリーム)] に移動し、[Stream profiles (ストリームプロファイル)] をクリックします。
4. ストリームプロファイルを選択し、[Audio (音声)] をクリックします。
5. チェックボックスを選択し、[Include (対象)] を選択します。
6. [Save (保存)] をクリックします。
7. [Close (閉じる)] をクリックします。

双方向音声通信を許可

注

カメラのユーザーインターフェースで双方向音声通信を設定した場合は、ビデオ管理システムを使ってその機能を活用します。

1. 音声入力コネクタにマイクを接続します。
2. 音声出力コネクタにスピーカーを接続します。

以下の手順に従って、カメラのWebページで双方向音声を許可します。

1. [Settings > Stream (設定 > ストリーム)] に移動し、音声を含めます。
2. [Settings > Audio (設定 > 音声)] に移動し、音声が許可されていることを確認します。
3. [Mode (モード)] が [Full duplex (全二重)] に設定されていることを確認します。

イベント

アクションをトリガーする

1. Settings > System > Events (設定 > システム > イベント) に移動し、ルールを設定します。このルールでは、装置が特定のアクションを実行するタイミングを定義します。ルールは、スケジュール、繰り返し、または動体検知によるトリガーなどを利用して設定できます。

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

設定

2. アクションをトリガーするために満たす必要がある **[Condition (条件)]** を選択します。ルールに複数の条件を指定した場合は、すべての条件が満たされたときにアクションがトリガーされます。
3. 条件が満たされたときに装置が実行する **Action (アクション)** を選択します。

注

アクティブなルールを変更する場合は、ルールを再起動して変更内容を有効にする必要があります。

PIR検知器が動きを検知したときにビデオを録画する

必要なハードウェア

- 3ワイヤーケーブル (アース、電源、I/O)
- Axis PIR検知器

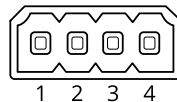
注意

注

I/Oコネクタについては、7ページコネクタを参照してください。

1. アース線をピン1 (GND/-) に接続します。
2. 電源ワイヤーをピン2 (12V DC出力) に接続します。
3. I/Oワイヤーをピン3 (I/O入力) に接続します。

PIR検知器のI/Oコネクタに配線を接続します



1. アース線のもう一方の端をピン1 (GND/-) に接続します。
2. 電源ワイヤーのもう一方の端をピン2 (DC入力/+) に接続します。
3. I/Oワイヤーのもう一方の端をピン3 (I/O出力) に接続します。

カメラのWebページでI/Oポートを設定します

1. **[Settings > System (設定 > システム)] > [I/O ports (I/Oポート)]** に移動します。
2. **[Port 1 (ポート1)]** ドロップダウンリストから **[Input (入力)]** を選択します。
3. 入力モジュールに分かりやすい名前を付けます。
4. PIR検知器が動きを検知したときに、検知器がカメラに信号を送信するには、ドロップダウンリストから **[Closed circuit (閉路)]** を選択します。

カメラがPIR検知器から信号を受信したときに、カメラをトリガーして録画を開始するには、カメラのWebページでルールを作成する必要があります。

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

トラブルシューティング

トラブルシューティング

ミッドスパンの電源が入らない

- 電源ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- 電源を切断し、その後再投入して、電源投入シーケンス中のインジケータの状態を確認します。
- 電源ケーブルが正常に機能することを確認します。

電源を投入しても装置が動作しない

- 受電側装置がPoEに対応しているかを確認します。
- 4つのワイヤーペアを有する標準のカテゴリ5e/6、ストレートケーブルを使用しているかを確認します。
- 受電側装置がPoEポートに接続されていることを確認します。
- 外部パワースプリッタを使用している場合は、正常に動作していることを確認します。
- ツイストペアケーブルまたはRJ45コネクタに短絡(ショート)がないことを確認します。
- 可能な場合は、同じ受電側装置を別のミッドスパンに再接続します。

端末装置は動作しているが、データリンクが確立されない

- イーサネットRJ45ケーブルを使用している場合は、標準のカテゴリ5e/6、4ペアのストレートケーブルが使用されていることを確認します。
- イーサネットRJ45ケーブルを使用している場合は、ソースから負荷/端末機器までのイーサネットケーブルの長さが100 mを超えていないことを確認します。
- 光ファイバーケーブルを使用している場合は、ケーブルとSFPモジュールが正しいタイプであり、ケーブルが機能していることを確認します。
- パワースプリッタを使用している場合は、正常に動作していることを確認します。
- 可能な場合は、同じ受電側装置を別のミッドスパンに再接続します。

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

仕様

仕様

LEDインジケータ

電源LED

LEDの色	動作	説明
消灯		電源オフ
緑色	点灯したまま	電源オン

PoE LED

LEDの色	動作	説明
消灯		装置が接続されていません。
赤	点灯したまま	リモート装置が接続されているが、PoEネゴシエーションが失敗したか、ポートが過負荷または短絡。
緑色	点灯したまま	リモート装置が接続され、PoEネゴシエーションが成功し、ポートが負荷を供給中。

コネクタ

ネットワークコネクタ

本製品は、次の複数のネットワークコネクタを付属しています。

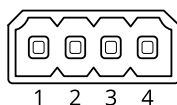
- PoE: High Power over Ethernet (High PoE) 対応RJ45コネクタ
- SFP: SFPモジュールを光ファイバケーブルで接続するためのSFPコネクタ
- DATA: 装置をRJ45ケーブルで接続するためのRJ45コネクタ

注

装置をSFPポートまたはデータポートに接続できます。2台の装置を接続(各ポートに1台の装置を接続)する場合、SFPポートに接続された装置が優先されます。

音声コネクタ

音声入出力用4ピンターミナルブロック。



AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

仕様

機能	ピン	備考
GND	1	アース
12 V	2	外部ソース用12 V
ライン入力	3	音声入力
ライン出力	4	音声出力

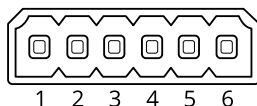
I/Oコネクタ

デジタル入力 - 開回路と閉回路の切り替えが可能な装置 (PIRセンサー、ドア/窓の接触、ガラス破損検知器など) を接続するための入力です。

デジタル出力 - リレーやLEDなどの外部装置を接続します。接続された装置は、VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェースを通じたイベントまたは製品のWebページからアクティブにすることができます。

オン/オフ - PoE出力のオン/オフを切り替えます。

6ピンターミナルブロック

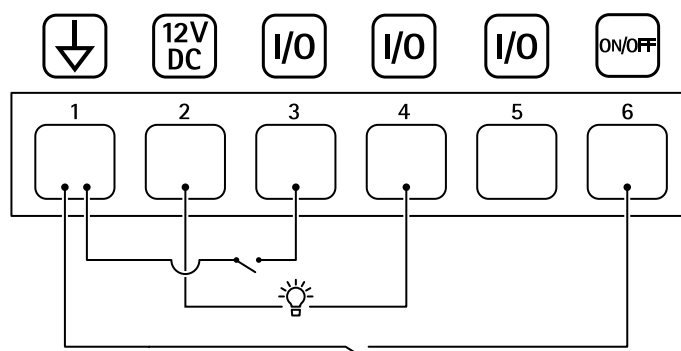


機能	ピン	備考	仕様
DCアース	1		0 V DC
DC出力	2	補助装置の電源供給に使用できます。 注: このピンは、電源出力としてのみ使用できます。	12 V DC 最大負荷 = 50 mA
設定可能 (入力または出力)	3-5	デジタル入力 - 動作させるにはピン1に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) のままにします。 デジタル出力 - アクティブ時はピン1 (DCアース) に内部で接続し、非アクティブ時はフロート状態 (未接続) になります。リレーなどの誘導負荷とともに使用する場合は、過渡電圧から保護するために、負荷と並列にダイオードを接続します。	0~30 V DC (最大) 0~30 V DC (最大)、オープンドレイン、100 mA
CAMオン/オフ	6	CAMオン: カメラの電源を入れたままにするには、このピンをフローティング (非接続) のままにします。 CAMオフ: ピン1に接続してカメラの電源を切ります。	

例

AXIS TU8003 90 W Connectivity Midspan

仕様



- 1 DCアース
- 2 DC出力 12 V、最大50 mA
- 3 設定可能I/O
- 4 設定可能I/O
- 5 設定可能I/O
- 6 CAMオン/オフ

